

総務委員会

委員長 小沼秀朗

当委員会は、「本庁・支所からみる公共施設の今後のあり方」について大東支所をモデルに調査研究と協議を重ね、また、以下の広聴の機会によるご意見等を踏まえて当局と意見交換を行いました。

総務委員会 広聴の機会

- 大浜中学校区地区区長会会長と意見交換
- 大浜中学校・西中学校・掛川西高等学校生徒とテレビ会議による意見交換
- 議会報告会（質疑、アンケート等）

協議会の 主な 意見

- 市内公共施設の今後の利活用を民間へプロポーザルにて募る方法も有効である。
- 大須賀支所はフロアの一部を、JA遠州夢咲に貸し出している。大東支所も支所内施設や隣接する公共施設を集約し、民間へのフロア貸しを検討すると良い。
- 民間活力を導入した複合施設とした場合、セキュリティ対策を万全にしていく必要がある。
- 公共施設マネジメントは、統廃合の推進だけではなく、市のブランドメッセージ「あなたの夢、描いたつづきは掛川で。」の言葉の様に、統合の先の新たな魅力を示していく必要がある。
- 大東支所展望台からの眺めが好評で、中高生からも有効活用を望む意見があった。インスタ映えスポットとしてのPRや展望アートの創設等、若者の発想を取り入れ検討すべきである。
- 津波等の有事に備え、大東支所屋上に行ける外階段を設置すべきである。
- 大東保健センターの児童館は充実しており、多くの市民に活用していただけるように、よりPRが必要である。子ども達や保護者の方が集えるカフェ、ランチ店舗の設置を検討すると良い。
- 大東・大須賀区域は、医療機関が少ない。大東保健センター1階を今後、地域医療の核として医療充実に向けて取り組むべきである。



大東支所の活用方法について地元区長会会長と意見交換



放課後等デイサービスを視察（みなみかぜ・三保区）



老人福祉センターを視察（山王荘・大坂区）



大浜中学校・西中学校・掛川西高等学校生徒とテレビ意見交換

まとめ

当局より「公共施設再配置において、民間活力を取り入れながら施設の有効活用等、参考にしていきたい」との回答があり、今後、政策提言に向け協議を重ねてまいります。